



平成27年度  
下呂市消防協会

# 火災防御訓練



※写真には、交通整理する消防団員、訓練を見学する金山方面隊以外の市消防団員、指導のため検視する協会消防団員などの方々が写り込んでいます。

10月4日、金山町菅田桐洞地内で、火災防御訓練が行われました。この訓練は、毎年度、会場を市内5地域で順番に移しながら、消防機関が自主防災組織と連携を深め、有事の際には迅速かつ的確な消火活動を実施するために行われています。

今年度は、市消防団金山方面隊・女性分団金山支部、消防本部南消防署、金山振興事務所、下呂警察署、そして金山町菅田7区の地域の方々合計142人により、菅田小学校付近での火災を想定し、通報訓練、初期消火訓練、救出搬送・救護訓練、消火訓練、延焼防止訓練が行われました。

【消防本部 消防総務課】



1 火災を発見し、近所の方に知らせる地域住民



2 火災の状況を携帯電話で消防本部へ119番通報する地域住民



6 救護所に搬送されて来た人が人を応急手当する女性消防団員



5 竹と毛布で作った簡易担架だけが人を救護所まで搬送する地域住民



7 防災行政無線サイレンにより現場に駆けつけ、可搬ポンプを降ろし、消火に取り掛かる消防団員



8 河川の脇まで可搬ポンプを運び、吸管を河川に投入し、消火用の水を吸水する消防団員



下呂市消防団金山方面隊長の  
土屋 竹浩さん(金山町泉町)に  
お聞きしました

「今年の防御訓練は、住宅密集地での火災を想定し、この条件下で、住民・消防署・消防団が、どのように動き、どれだけ連携できるかを課題にした」と土屋方面隊長。

火災を発見した場合、住民は①付近の人へ火災の告知、②初期消火、③消防署へ通報をするとのことですが、良く出来ていたと感じられたそうです。そして「訓練を通じ体験することが大事であり、住民は、火災発見時の動きを分かってくれたのではないか」と述べられました。

消防署と消防団の連携は、おおむね出来ていたと言われたものの、積極的な連携など反省点もあるので、今後に生かしていきたいと、前向きに捉えてみました。また、新たな訓練種目として、住民・女性消防団救護活動と延焼防止対策の訓練を組み入れたそうで、絶え間ない防災力向上の姿勢に頭が下がりました。

# 下呂市防災講演会

入場  
無料

自然災害から身を守るためには、日頃からさまざまな備えをしておくことが大切です。防災意識の高揚と地域防災力を高めることを目的に、防災講演会を開催します。  
【総務部・情報防災課】

**テーマ** 巨大災害を乗り越える  
自助、共助

**日時** / 平成27年11月6日(金) 19時~21時  
(開場18時30分)


**場所** / 下呂交流会館 マルチスタジオ

---

**日時** / 平成27年11月12日(木) 19時~21時  
(開場18時30分)

**場所** / 金山市民会館 3階 大ホール

●講師 岐阜県・岐阜大学 清流の国ぎふ防災・減災センター コーディネーター <b>西田 重成氏</b>	●プロフィール ・防災士 ・災害ボランティア コーディネーター
---	--




3 初期消火のため、道路に埋設されている消火栓を開ける地域住民




4 消火栓からの水を火点へ放水し、初期消火をする地域住民

**テーマ** 御嶽山の噴火と  
小坂への影響を考える

**日時** / 平成27年11月29日(日) 19時~21時  
(開場18時30分)

**場所** / きこりセンター(小坂町大島)

●講師 NPO 法人 環境防災総合政策研究機構 理事 <b>宇井 忠英氏</b>	●プロフィール ・北海道大学名誉教授 ・日本災害情報学会名誉会員 ・日本火山学会名誉会員
---	---




9 火点に向かって一斉に放水する消防団員と南消防署の消防士

**おめでとう (敬称略)**

第70回国民体育大会出場

【10月2日~6日 和歌山県】  
▽成年男子やり投・齋藤文孝

第28回全国健康福祉祭  
やまぐち大会出場


【10月17日~20日 山口県】  
▽マラソン・酒井ミユキ▽剣道・日下部守富、田中敬▽グラウンドゴルフ・住英明、住みつる

第99回日本陸上競技選手権大会入賞

【6月26日~28日 新潟県】  
▽男子やり投7位・齋藤文孝

第63回全日本実業団対抗陸上競技選手権大会入賞

【9月25日~27日 岐阜県】  
▽男子やり投3位・齋藤文孝




10 訓練が終了し、菅田小学校グラウンドに集まり、修了式を行う全参加者